

第2号様式（指定）

整備振興会会員：3部提出  
整備振興会非会員：2部提出

## 記載例

### 指定自動車整備事業の変更（届出・申請）書

検査機器を変更する場合の記載例です

関東運輸局長 殿

令和7年4月1日

道路運送車両法等の規定により別紙書面を添え（届出・申請）します。

（注）届出にあっては「届出」、申請にあっては「申請」の文字に○を記載すること。

（注）該当しない項目は記載を省略することができる。（全ての項目に共通）

（注）必要に応じて、記載枠を追加・拡大または削除・縮小することができる。（全ての項目に共通）

（ふりがな） 届出者 申請者	（ふりがな） 群馬運輸自動車整備工場株式会社 代表取締役 前橋 太郎
（ふりがな） 届出者 申請者	群馬県前橋市上泉町399-1
電話番号	TEL 027-263-4440 FAX 027-261-0032
（ふりがな） 事業場の名称	（ふりがな） 群馬運輸自動車整備工場株式会社上泉工場
事業場の所在地	群馬県 前橋市上泉町399-1
電話番号	TEL 027-263-4440 FAX 027-261-0032
指定番号	（注）○枠内の該当するものに○を記載すること。 関東指・関東特指・東指・東特指 第7-123456号

届出・申請の変更内容	変更年月日	令和7年3月10日
屋内作業場の位置又は面積	対象とする自動車の種類	【変更申請】
○ 自動車検査用機械器具設備	業務の範囲の限定	【変更申請】
自動車検査用機械器具設備（共用設備）		

（注）○枠内の該当するものに、追加をするものは○を、廃止をするものは×を、変更がないものは○を記載すること。

#### 1-① 対象とする自動車の種類の変更

対象自動車の種類	普通自動車（大型）	○	小型四輪自動車
	普通自動車（中型）	○	小型三輪自動車
	○ 普通自動車（小型）		小型二輪自動車
	○ 普通自動車（乗用）	○	軽自動車
	大型特殊自動車		

（注）○枠内の該当するものに、追加をするものは○を、廃止をするものは×を、変更がないものは○を記載すること。

#### 1-② 業務の範囲の限定（指定）の変更

業務の範囲の限定	軽油を燃料とする自動車を除く
	ガソリン又は液化石油ガスを燃料とする自動車を除く
	カタピラ付大型特殊自動車に限る
	その他（ ）

（注）○枠内の該当するものに、限定の申請をするものは○を、限定の解除をするものは×を、変更がないものは○を記載すること。

- （届出・申請）書は2部（整備振興会会員の場合は3部）作成して下さい。
- 記載例はあくまで一例です。事業場の状況及び変更内容に応じて記載して下さい。
- 変更内容に応じて別途、書面を添付する必要がある場合があります。

（提出先：群馬運輸支局2階[整備担当]）

## 2 工員の構成

工員等の作業の別	合計 (工員数)	整備士数 (特殊整備士を除く)			整備士以外の工員及び特殊整備士数
		一級	二級	三級	
自動車工 (検査)	2 人	0 人	2 人	0 人	0 人
自動車工 (整備)	3 人	0 人	1 人	1 人	1 人
その他(板金工等)	0 人				

(注)その他(板金工等)は、電子制御装置整備に従事する板金工及び電装工等を記載する。

## 3 屋内作業場の面積の変更

屋内現車作業場	m <sup>2</sup>	その他の作業場	m <sup>2</sup>
電子制御装置 点検整備作業場	m <sup>2</sup>	車両置場	m <sup>2</sup>
	m <sup>2</sup>	完成検査場	m <sup>2</sup>

(注)対象とする自動車の種類を拡大する場合にも記載すること。

## 4 自動車検査用機械器具設備の変更

検査機器の名称	数	型 式	能 力	備付年月日
ホイール・アライメント・テスタ				年 月 日
○ サイドスリップ・テスタ	1	ABSTM-180	軸重3, 600kg	令和 2年 10月 1日
ブレーキ・テスタ	1	ABSTM-180	軸重3, 600kg	令和 2年 10月 1日
前照灯試験機	1	HT-538	走行用0~1, 200hcd それ達い用0~1, 200hcd	令和 2年 10月 1日
音量計				年 月 日
○ 騒音計	1	NL-28M	30~137dB	令和 7年 3月 10日
速度計試験機	1	ABSTM-180	軸重3, 600kg	令和 2年 10月 1日
一酸化炭素測定器	1	MX-002	0~10%	令和 4年 10月 1日
炭化水素測定器	1	MX-002	0~10, 000ppm以上	令和 4年 10月 1日
黒煙測定器				年 月 日
○ オパシメータ	1	GSM-200	0~9, 998m-1	平成 22年 4月 1日
検査用スキャンツール	1	DN-VIM-101	ドライバ 3.0.9 ファームウェア 3.1.1	令和 6年 10月 1日

(注)検査機器の名称欄は、□枠内の該当するものに○を記載すること。

## 5-① 検査施設の共同使用

共用設備事業場	事業場の名称	
	所在地	
	管理責任者の氏名	
当該共用設備までの自動車による所要時間		分

## 5-② 共用設備事業場の最近3ヶ月間における月平均の車種別整備実績

[ 年 月 日 ~ 年 月 日 ]

車種別	車検整備	定期点検 整備	その他の 整備	車種別	車検整備	定期点検 整備	その他の 整備
普通(大型)	台	台	台	小型四輪	台	台	台
普通(中型)	台	台	台	小型三輪	台	台	台
普通(小型)	台	台	台	小型二輪	台	台	台
普通(乗用)	台	台	台	軽	台	台	台
大型特殊	台	台	台	計	台	台	台

5-③ 共用設備事業場の自動車検査用機械器具設備

検査機器の名称	数	型 式	能 力	備付年月日
ホイール・アライメント・テスタ				年 月 日
サイドスリップ・テスタ				年 月 日
ブレーキ・テスタ				年 月 日
前照灯試験機				年 月 日
音量計				年 月 日
騒音計				年 月 日
速度計試験機				年 月 日
一酸化炭素測定器				年 月 日
炭化水素測定器				年 月 日
黒煙測定器				年 月 日
オパシメータ				年 月 日
検査用スキャンツール				年 月 日

(注)検査機器の名称欄は、□枠内の該当するものに○を記載すること。

備考	騒音計NL-27Mを老朽化のため廃止し、NL-28Mを設置。
----	--------------------------------

## 6 省力化機器

検査機器の名称	数	能 力	備付年月日
電動クレーン又は トランスマッショントラック・ジャッキ			年 月 日
ホイールドーリー			年 月 日
増力装置付きシグナル式トルク レンチ又はトルク設定型インパ クトレンチ			年 月 日

(注)工員数4名で大型車を扱う事業場であって、変更申請の場合に記載すること。